

様似郷土館だより

— 2025年 6月号 Vol.15 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

今年は5月になっても肌寒い日があり、昨年よりも開花が10日ほど遅れているようです。5月26日にはアポイ岳に植物調査の協力で7合目での作業がありましたが、アポイクワガタは蕾の状態でした。アポイアズマギクは開花しており、晴れた日にはヒメチャマダラセセリが観察されているそうです。15日にはアポイ岳保全対策協議会が振興局で開催されました。アポイ岳の希少植物の保全のため取り組みの報告や計画の情報共有がされました。29日には盗掘防止のパトロールに参加しました。アポイ岳の植物も見ごろを迎えます、是非休みの日にはアポイ岳に登山してみましょう♪今年は、アポイ岳での昆虫調査も予定しております。

放課後活動推進協議会の演習編が日高振興局で7月1日に開催されます。子どもの放課後活動に携わる方々が対象です。4つある演習の中から「子どもと一緒に楽しむ昆虫採集」を担当します。北海道教育委員会の令和7年度放課後活動推進協議会に案内が掲載されております。ぜひ、興味のある方がいましたらお申し込みください！（榎本尊）



カンカン講座 5月

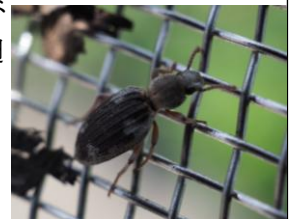
【報告】

5月24日(土)に「エンルム海岸の漂着物と生き物調査」を開催いたしました。10名が参加し、館内でトランクキットを活用して海岸の生き物の事前説明後にエンルム海岸に向かいました。海岸ではザルを使用して流木や海藻の下の昆虫を採集しました。漂着物には貝殻、韓国語のプラ容器、海藻などがありました。ハマダンゴムシ、小型のガムシなど海浜性の昆虫も多く見れました。水永学芸員から植物の説明、小川司書から図書の紹介がありました。



昆虫紹介 「ハマヒョウタンゴミムシダマシ」

海岸の砂浜に生息するゴミムシダマシ。流木下によく潜んでいます。5mm程度です。漂着した魚や動物の死骸を食します。白色の斑紋は砂浜ではよく馴染み、隠蔽色として機能します。本州にはニセハマヒョウタンゴミムシダマシが生息していますが、上翅の隆起した筋が無いため、区別は容易です。北海道内の海岸ではよく見かけます。



カンカン講座6月

【予告】

「電動アシスト付きマウンテンバイク(E-MTB)で、アポイ岳ジオパークをめぐる」

【日 時】 6月28日(土) 10:00～11:30

【場 所】 様似観光案内所

【定 員】 8名(中学生以上、150cm以上)

【申 込】 6月20日(金)までに商工観光課(36-2120)

【注 意】 ヘルメット、グローブ、E-MTBは貸し出します。

動きやすい服装、飲み物持参。

中止の場合は前日17時までに連絡します。

2025年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3	4	5	6	7
8	9 休館日	10	11	12	13	14
15	16 休館日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 休館日	24	25	26	27	28
29	30 休館日					

10:00～16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

ヒダカソウの植え替え

【参加報告】

- 【月 日】 5月1日(木) 【場 所】 アポイ岳ジオパークビジターセンターの栽培施設
- 【内 容】 様似町を代表する絶滅危惧種のヒダカソウ。ビジターセンターでは株分けしたヒダカソウを含む高山植物を栽培しています。今回は、ヒダカソウの植え替え作業に協力しました。



【事業報告】

「Shamani Ainu」 景品追加と新聞掲載

- 【掲載日】 5月14日(水)
- 【掲 載】 北海道新聞(紙面、デジタル)
- 【景 品】 缶バッチ(5種類)



【内 容】 様似町のアイヌ文化を紹介するHP「Shamani Ainu」が新聞に掲載されました。デジタルスタンプラリーの達成者景品第2弾として缶バッチの配布を開始しました。缶バッチと写真セットからお好きな景品をプレゼントしています！

【参加報告】

様似山道に整備事業

- 【月 日】 5月11日(日)
- 【場 所】 様似山道
- 【内 容】 様似山道の維持管理業務はアポイ岳ファンクラブに委託しております。今回は整備事業に参加しました。原田宿の看板の破損や西口～コトニ小休憩所の山道の橋の老朽化が生じていました。国指定史跡「様似山道」を今後も維持していくためにも、破損箇所を把握、修繕を実施していきます。



【事業報告】

高齢者学級「映像学習」

- 【日 時】 5月13日(火)
- 【場 所】 緑町生活館
- 【講 師】 榎本 尊(様似郷土館 学芸員)
- 【参加者】 35名

様似の歴史	1875	寛文12	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1878	明治11	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1879	明治12	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1880	明治13	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1881	明治14	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1882	明治15	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1883	明治16	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1884	明治17	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1885	明治18	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1886	明治19	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1887	明治20	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村
	1888	明治21	岩手山麓のアイヌ文化で賑わった村



【内 容】 郷土館に収蔵している古い町内の写真やネガフィルムを使用して様似の昔の街並みを解説しました。終了後は映像を2本視聴して終了しました。参加者は懐かしい様似の風景を楽しんでいました。

【事業報告】

ジオ学習 春

- 【日 時】 5月15日(木) 9:30~11:30
- 【場 所】 観音山
- 【対 象】 年中、年長

【内 容】 幼児センターの園児たちと共に観音山で昆虫の観察会を実施しました。昆虫ビンゴも実施し、全9種の昆虫をコンプリート出来ました。春らしい昆虫もしっかりと観察でき、園児たちも楽しんでいました！



【参加報告】

日胆地区博物館等連絡協議会 総会

- 【日 時】 5月22日(木)
- 【場 所】 新ひだか町アイヌ文化交流センター
- 【内 容】 日胆地区の博物館の総会がありました。今年は登別市と日高町の2館が新規加入しました。エキスカッションでは今年から開館したセンターの解説と古式舞踊体験がありました。

